



汚染なき海だからこそ楽しい島の磯遊び

中国では殺鼠剤（ねずみとり）
を使いすぎて、クスリの効かぬ
鼠（スーパーラット）が跳梁し
殺鼠剤の効かぬ

加入したが、「村」に関しては、
ゆえなきにしもあらずというこ
とになる。
ところで、我らが住むこの地
方が、とても安全に住める環境
にあることは、我々にすら日々
忘れてはいないだろうか。



復旧とは元に戻れる」と
元には戻れぬ原発事故

原発は絶対安全といふ神話が
崩れ去つてもなお、福島の原発
事故の主因は、地震か津波な
かも解明されないまま、なし崩
しに再起動にむけてうごめき始
めている。原発事故からの復旧
が万年単位のものというのは、
ほほ国民の共通知識になつてい
るにもかかわらずその有様だ。
海や空には境界がないところ
から地球はひとつ、という認識、
というより「言い方」が生まれ
た。その無縫界の中に毒物がま
き散らされるとどうなるかを、先
まざまと見せつけたのが、先
だって日本にも押し寄せた中国
大陸大気汚染のスマッグだった。

元氣で育つ町の児ら
節分が過ぎればこの地方は急
に春めいてくる。卒業式、入学
式はもうすぐだ。2月4日立春
の日には、中学2年生の少年式
があつた。平成の大合併における「町」
という単位は人口1万人を目安
に区切られた。しかし上島町は
当初より1万人を切り、合併9
年目に入り7,600人余。こ
れではもう「村」単位といつて
もよからう。期せずして何年か
前、日本で最も美しい村連盟に
忘れてはいないだろうか。

安全に住めるのが最大の魅力

この安全に住めるという魅力は
これから町づくりにとつて重
要な要素であるはずだ。その一
方で以下のような事実もある。
東北地方の大津波と福島の原
発事故。時の政権の対応のまづ
さと、電力会社のしくじりで、
惨事は何万年規模の対応を余儀
なくされる。そしてひつくな
った政権のあとを襲った新政権
は、かつての自らのたらめぶ
りにほつかぶりして、復旧を口
にしながらまたもや原発にたよ
る政策に戻ろうとしている。そ
こに暗躍するのは「原子力村」
と呼ばれる利権集団だ。

日々汚染物質を排出している現
状。それを、我が国の人々は決
してあざ笑うことはできない。
そう遠くない過去に、まったく
同じ凶式で大気汚染物質を垂れ
流してきた実績があるからだ。
そして今度は放射能汚染物質で
それをやろうとしているからだ。
人類の未来にとって、まさにス
ーパーマンへの一里塚だ。

島だから楽しめる自然の恵 もつと伝えて移住を増やそう

文明の光と影、その功罪

彼の國もこの國も、こうして
後になり先になり文明の光と影
の先達を務めてきたわけだが、
目先の経済発展ばかりに汲々と
して遠い未来を見ようとしなか

身をもつて警告する
みんなで恵方巻き・南南東に幸あれ

つかつては、風が吹けば捕屋
儲かるなど香気に笑つて居られ
た。いまや、風が吹けば急いで
逃げろの状態になりつつある。
とすれば、実は我々の住み処が
置かれている状況は決して楽観的
ではない。さてこの現状

美しい村、美しい町で 在り続けるためには

つた事は共通している。
が効かぬ、公害に強い人種（ス
ーパーマン？）は、まだらしい。

視界不良で車の追突事故が相
次ぐとされる中国の深刻な大気
汚染。もはや人間の健康的に住
める環境ではない。そこに住む
何億人の人々が、自らのしで
かした事への反省も自省もなく、
日々汚染物質を排出している現
状。それを、我が国の人々は決
してあざ笑うことはできない。

そう遠くない過去に、まったく
同じ凶式で大気汚染物質を垂れ
流してきた実績があるからだ。
そして今度は放射能汚染物質で
それをやろうとしているからだ。
人類の未来にとって、まさにス
ーパーマンへの一里塚だ。

カミンちゃんとかみじい



やよみ事でのり巻き会(講習)をしました。

弓削の新海苔を用意し、具の方はほとんど先生に準備していただきました。生徒らはすし飯の用意をした。いよいよのり巻き。意外に簡単で、黒々とした太巻きがたちまち何本も出来上がりました。しかし、少し時間がたつとパカッと海苔のつなぎ目が開いたりして情けない。ご飯の多すぎ。よし、練習して来年は上手になるぞ、と。（鬼が笑ってるな）

Rainy Blue
(レニーブルー)

安藤朋生 茨城県

島に住むのに良い方法を思
ついた。それは嫁に行くこと
である。簡単に言い放ってしま
たが、これがどれだけ実を結ぶ
のが難しいことかも理解して
いる。というのも、つい今方ふ
られ木つ端微塵に津軽海峡の泡
となった次第ですもの。ワタシ

に人と生きる人生はないのかも
しない。

猛威を振るうインフルエンザ
に負けるものかと気合いで乗り
切ったはずなのに、風邪を引く
し失恋はするし、毎日とにかく忙
しいし、なんだか悲しくなる。
いつだってどこへでも行ける、
そう思っていたけど年を重ねる
ごとに気弱になっていくエネル
ギー。私のエネルギーはどこに

行っちゃうのか。すり抜けてく
る小さな悪魔にエネルギーを奪
われ、心はすっかり水浸しであ
る。

③

こうなると何が
癒しか、2匹の
猫しかいない。
毎日その2匹を
かいぐりかいぐ
りかいぐり、思
う存分こね回す。猫にはえらい
迷惑な話である。そんな訳だか
らワタシが帰ると逃げ腰である。
それをジワジワと角に追い詰め

捕獲！ あ！これか？ダメなと
こ？！って人間の殿方にはやり
ませんよ。どちらかというと野
放し放置タイプ♪これもダメな
のかもしれない・・・。

1月の原稿に、2013年は善く
も悪くも変わる年と書いている
ワタシ。ムムム。新年早々自
分がブータレているとは、困
ったものだ。

心が満たされたるよう素直に
暮らそう。雨の日ばかりじゃな
いものね。



議員活動録

(3) 上島町議会議員・平山和昭

全国の自治体の議会が形骸化しているという指摘は、ずいぶん前からあります。それは結局、議会に力がないということを意味しています。議会といふよりも、議員個々の力が弱いという意味でもあります。議会本部に力があるとは、議会本部の務めである行政のチェック力の有無であり、日々とは々々を貢ぐ事です。他所はともあれ、顧みて我が町ではどうかというと、有権者の皆さん方にどう見えているのでしょうか。

少しずつ進む改善

先月号に書きましたが昨年十二月の定例議会から議会の質疑の風景が若干変わりました。改革というのはそういうことばかりではありません。世間では議員定数の削減が改革のキモのように言われますが、これは先に書いた議会の形骸化、つまり理事者の立案の追認機関にしかなっていないことより発していると言えます。

議会といふのは行政のチェックをする為にあるのですから、本来は相応の人員が必要なのはいうまでもありません。議会事務局の拡充こそ、実は議会改革のキモだと、筆者は認識しています。なぜかといいますと、普通の町村でも町長部局には、日夜専門的に仕事をしている多くの職員がいます。翻つて議会にはせいぜい一~二名の常勤事務方職員が配置されているのです。議員は概ね非常勤。そ

うした体制で、行政のチエックも議員自身の口からはあまり聞かれることもありませんが、議会事務局の拡充こそ、実は議会にはせいいぜいいます。なぜかといいますと、議員は概ね非常勤。そ

議会改革待ったなし

を果たすのは、パワーバランス的にあまりに差がありすぎると言えます。結果的に十分なチエックが果たせず、有権者の失望を減らせ、という声につながつてゆくのです。議員に力がなければ余程事務方の陣容を整えておかねば務めは果たせません。

財政力の弱い自治体では職員を増やすことには強い抵抗があります。こういう一連の延長線上に現在の議会があるのだといいます。

ともあれ議会改革の実現に向けて少しずつ改善を進めてはいますが、当面取り組まねばならない課題は、

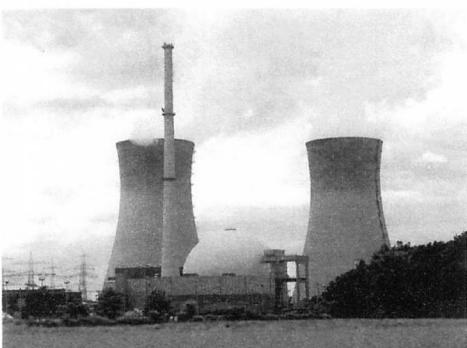
代的視点で行政をチェックできることにならねば、いつまでたっても形骸化した議会、いや町のものの存続すら怪しくなってしまう。これは火を見るよりあきらかなことだからです。

やよみ亭 映画研究会（無料）
2月15日（金） 19:00～

【どなたでも覗きにおいでください】

「見えない雲」（参加者推奨作品）

★ チエルノブリ原発事故直後の1987年に発表され、数々の文学賞を受賞したベストセラー小説を映画化した問題作。小さな町を襲った原発事故の悲劇と、その極限状況下で育まれる愛を描く。監督は、『レボリューション6』のグレゴール・シュニツラー。被爆という過酷な運命を負いながらも深い愛を築いてゆくカップルを、ドイツの新星パウラ・カレンベルクとフランツ・ディンダが好演。数多くの原発が稼動する現在、絵空事ではない恐怖を感じさせられる。（ドイツ映画・解説記事出典 Yahoo!映画）



ふるさとネット

ふるさと

ふるさと